

主な出来事

【内政】

- 国民議会及び上院議会の通常国会開会式の開催
- PDG 党員3名の除斥処分
- 「PDG H&M」の結成
- PDG 党大会におけるボンゴ大統領の公認候補承認
- 国民議会議長による辞任表明

【外政】

- ボンゴ大統領による仏エネルギー大臣との会談
- ボンゴ大統領によるコートジボワール大統領との会談
- ボンゴ大統領による核セキュリティサミット出席

【経済】

- ムーディーズ格付け：ガボンBa3
- Addax Petroleum 社操業鉱区における爆発事故
- AFD 支援
- 印 3F Oil 社によるパームオイル開発

【内政】

1 国民議会及び上院議会の通常国会開会式の開催

1日、国民議会の通常国会開会式が開催され、国民議会議長は、与党PDGが国民議会の大多数を占めているにも拘わらず議会承認の政令件数が増加している状況を懸念して、右承認は緊急事態に限定すべき旨発言した。また、同日開催された上院議会の通常国会開会式において、上院議会議長は上院議員に対して、透明性を確保したうえで、平穏かつ期限内に大統領選挙が実施されるよう要請した。（2日付UN）

2 一部野党UN 党員の離党及びジャン・ピン支持表明

5日、野党・国民連合（UN）の一部党員はUN 離党を公表し、ジャン・ピン支持を表明した。右離党者は、アンドレ・ンバ・オバムUN 幹事長の死後、ジャン・ピン前AUC 委員長またはジャック・アディアエノを与党の対抗馬として擁立することを訴えていた。（8日付UN、7日付GR）

3 PDG 州党会議の開催

5日、ガボン国内の全9州においてPDG 党会議が開催され、アリ・ボンゴ大統領の公認候補者が承認された。（7日付UN、7日付GR）

4 少数野党15 党によるボンゴ大統領支持表明

5日、少数野党15 党はリーブルビルに参集し、次期大統領選挙に向け、アリ・ボンゴ大

統領の支持を約束する協定に署名した。同協定に署名した政党は、結束愛国心前線（FPU）、社会民主連合（UDS）、共和平等前線（FER）、ガボン開発に向けた共通大義（CCDG）、民主文化前線（FDC）、ガボン社会化のための会（APSG）、統一社会党（PSU）、団結と平和のための結束（RGUP）、国家団結のための結束（RSN）、ガボン国民党（PNG）、国家発展連合（UPN）、民主主義のための結束（RDD）、社会正義のための民主運動（MDJS）、ガボン民主連合（UGD）、ガボン国民エコロジー党（PNE-GV）である。（7日付UN）

5 PDG 党員 3 名の除斥処分

9日、アレクサンドル・バロ・シャンブリエ、ミシェル・メンガ・メソノ及びジョナタン・イニユンバの3名のガボン民主党（PDG）議員（「相続と近代性（H&M）」所属）は、党規則に従い除斥処分を受けた。右3名の所属するH&Mは、2015年6月から、PDG党内の民主化を要求し、現政権の運営について批判を繰り返していた。（10日付GR、10日付UN）

6 「PDG H&M」の結成

10日、除斥処分を受けた元PDG党員3名（H&M所属）は、除斥処分は党規則に反しているほか、党内の政治運営が改善されていないとしてPDGを批判し、PDGの新派閥「PDG H&M」から大統領選挙に候補者を擁立する旨発表した。（11日付UN、11日付GR）

7 PDG 党大会におけるボンゴ大統領の公認候補承認

12日、PDG臨時党大会にて、アリ・ボンゴ大統領は大統領選挙のPDG公認候補として承認された。（14日付UN、13日付GR）

8 シマ元首相による立候補表明

12日、シマ元首相は、仏番組にて、次期大統領選挙に立候補する旨発表した。（12日付TV5、13日付GL）

9 ムサブ・キングPSG党首による立候補表明

18日、ムサブ・キング・ガボン社会党（PSG）党首は、次期大統領選挙に立候補する旨表明した。（21日付UN、20日付GR）

10 UDISによるボンゴ大統領支持表明

19日、社会統合及び民主政のための連合（UDIS）は、大統領選挙におけるアリ・ボンゴ大統領の支持を表明した。（21日付UN、20日付GR）

11 UN 通常党大会の開催

25-27日、最大野党UNは通常党大会を開催し、現時点では党候補者を選出しない旨決定した。ミボトUN代表は、選挙プロセスの改善を通じた透明性の確保を実現するよう訴えかけた。（29日付UN）

12 国民議会議長による辞任表明

31日、ンズバ・ンダマ国民議会議長は、19年間務めた国民議会議長職の辞任を表明した。同議長は、辞任理由として誹謗中傷・脅しのほか、行政府による権利濫用、議員によ

る議員特権の違反を挙げている。(4月1日付UN, 4月1日付GR)

【外政】

1 ボンゴ大統領によるコートジボワール国民議会議長との会談

3日, アリ・ボンゴ大統領は, 大統領特使として派遣されたギヨーム・ソロ・コートジボワール国民議会議長と会談し, 二国間関係について協議した。(4日付UN)

2 ボンゴ大統領による仏エネルギー大臣との会談

15日, セゴレーヌ・ロワイヤル仏環境・エネルギー・海洋大臣はガボンを訪れ, アリ・ボンゴ大統領と気候変動対策等について意見交換を行った。(17日付UN)

3 O I F 及び C E N A P との意見交換

15日, 仏語圏国際機関(O I F) ミッションは, 選挙管理委員会(C E N A P) と会談し, 平和かつ信頼性のある大統領選挙の実施に向けて対ガボン協力を表明した。(17日付UN)

4 ボンゴ大統領によるコートジボワール大統領との会談

24日, ウワタラ・コートジボワール大統領はフランスビルを訪れ, アリ・ボンゴ大統領と二国間関係の更なる強化について会談した。(25日付UN, 25日付GR)

5 E U によるガボン支援

29日, ムベレ・ブベヤ内務・地方分権・安全・公共衛生大臣はEU代表部と会談し, EU代による大統領選挙監視団の派遣について協議を行った。(30日付UN)

6 ボンゴ大統領による核セキュリティサミット出席

30日, アリ・ボンゴ大統領はワシントンを訪れ, 核セキュリティサミットに出席した。(31日付UN, 4月1日付UN)

【経済】

1 オナ・オンド首相による Airtel 代表取締役との会談

1日, ガボン訪問中のAirtel 代表取締役はオナ・オンド首相と会談し, 2010年から2015年にかけての総額750億CFAフランの投資実績を紹介し, 引き続き同国の通信状況を向上させる旨保障した。(2日付UN, 3日付GR)

2 ボンゴ大統領によるコミログ社の取締役会出席

2日, アリ・ボンゴ大統領はコミログ社の取締役会に出席し, 昨今の石油危機, 鉱業分野における急激な価格下落の状況等について意見交換を行った。(3日付UN)

3 ムーディーズ格付け: ガボン B a 3

ムーディーズは, 油価低迷によるマクロ経済の停滞及び石油・ガス依存型のガボン経済構造を理由に同国経済をB a 3と格下げした。(10日付UN, 8日付GR)

4 Maurel & Prom による 2015 年決算の発表

仏 Maurel & Prom 社は, ガボンにおける2015年決算を発表し, 売上が前年比50%減の1, 626億CFAフランになる旨発表した。同社による2015年の石油平均生産

量は、前年2万14バレル/日から、1万7,078バレル/日に減少した。(10日付UN)

5 グローバル化指標：ガボン1位/中部アフリカ地域

スイス連邦工科大学チューリッヒ校によって出版されたグローバル化指標によれば、ガボンのグローバル化指数は世界112位、アフリカ第14位、中部アフリカ第1位である。(10日付UN)

6 Addax Petroleum 社操業鉱区における爆発事故

12日、Addax Petroleum 社がオペレーター操業を行うオバング鉱区において爆発事故が生じ、ガボン人1名が死亡、6名が負傷（うち4名が重傷）した。(14日付UN, 14日付GR)

7 油価低迷によるマクロ経済の大幅な悪化

15日、持続可能な経済開発・投資促進・計画省は、油価の低迷により、2016年の石油収入による国庫歳入6,000億CFAフランのうち、2,500億CFAフランの確保が困難となる旨発表した。また、経済成長率は当初予測の4.6%から3.1%に減少した。(18日付UN)

8 AFD支援

22日、イモンゴ・タタガニ持続可能な経済開発・投資促進・計画大臣、フランス開発庁(AFD)ガボン・サントメ・プリンシペ地域事務所長及び在ガボン仏大使は、総額1,330億CFAフラン(約2億400万ユーロ)に亘る7年間の保健・教育支援に係る2件の協定に署名した。保健分野では、総額330億CFAフラン(約5,000万ユーロ)の支援により、ガボン国内の4つの州にある27の保健機関の改修・備品整備が実施される。また、総額1,010億CFAフラン(約1億5,400万ユーロ)が教育分野の開発計画に充てられ、リーブルビル及びポールジャンティの中学校9校及び小学校8校の建設・備品整備が実施される。(24日付UN, 24日付GR)

9 印3F Oil 社によるパームオイル開発

印3F Oil 社は、ガボン政府との間で、当地におけるパームオイル開発に向けたプロジェクト実施に係る協定に署名した。同社は、パームオイル開発のため1,250億CFAフランを投資し、今後、生産から加工までを担当し、国内外にてパームオイルを販売する予定。(25日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レヴュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリーブル電子版ニュース)